

## 貴船山

(716m)

実施日： 4月08日（火）

天 候： 晴

参加者： 8名 青木、園田、田中、中原、檜崎、細田、牧野、園田

行 程： 叡電「二ノ瀬」駅 10：03→10：27 衣服調整小休止 10：29→10：47 小休止 10：54→11：05 待機  
11：12→12：03 キブシの花 12：05→12：17 待機 12：19→12：27 貴船山 13：15→13：42 滝谷峠→  
14：28 一人滑落 15：00→15：05 足場の良い所で小休止 15：11→15：22 芹生からの車道に合流→  
15：30 貴船神社奥宮 15：38→16：01 貴船シャトルバスバス停

叡電「二ノ瀬」駅をスタートし、守谷神社の右手から二ノ瀬ユリ（ユリとは山腹を捲く道のことらしい）を上る。神社の前を真っ直ぐ行くと、京都一周トレイルで夜泣き峠に行くルートである。二ノ瀬ユリは道幅も広く、急登であるが歩きやすい。杉や檜の森のなかを上って行く。途中にはイワナシの可憐な花がまだ咲いている。天王山や三上山では終わってしまったが、標高700mに三角点があるらしいが、気付かず通り過ぎ、貴船山の山頂に到着。ここでお弁当にする。

食後二ノ瀬ユリを更に滝谷峠目指して進む。小さなアップダウンを繰り返し、高度も少しづつ下がる。滝谷峠からの下り道は倒木だらけなので、高捲きして進む。登山道に戻り、順調に高度を下げている。やがてU字谷になり、それがV字谷に差し掛かると厳しいルートになる。昔の記憶ではこれほど厳しいものではなかったが、V字の急斜面をトラバースするのに、右に滑り落ちない用、注意が必要。超厳しい所には頼りなげなロープが設置されている。ここは無事通過。このあと、1人がバランスを崩し滑りゴロンゴロンと転げ落ちる。谷底手前の古い木の切り株跡らしきところで、止まった。一大事発生。ザックを置いて滑りながら駆け降りる。顔中血だらけだが、意識もあり、骨折もなく出欠も止まっているようで、胸をなでおろす。谷川は岩が露出しているが、幸い斜面には岩がなかった。もう一人が上り返し、タオルを絞ったり、新しいタオルで処置をし、その間、落ちたルートをよじ登り、紛失物を探す。ストックと帽子は回収出来たが、眼鏡とスマホがどうしても見つからない。3往復したが見つからず。

ここから50m程先は谷も広がり、歩きやすくなるので、ゆっくり注意して下る。50m程下り足場のよいところで再度状態を確認する。大丈夫そうでやれやれである。歩きやすくなった道を進むと、芹生からの車道に合流。ここからは貴船神社の奥宮や、貴船の料理屋が建ち並ぶ間を進み、シャトルバスのバス停に到着。ここからは乗り物で移動でき、ケガした人は帰宅後すぐに、医者に行くことに。結果、顔や頭の切り傷だけで他に異常はなかった。

歩行距離 9.7Km 累積上り 740m 累積下り 650m



1, 守谷神社の右側から二ノ瀬ユリを上る



2, 二ノ瀬ユリを上り続ける



3, 貴船山への尾根道で、でっかい木を見上げる。何の木だろう？



4, 山頂は近いはず



5, 貴船山山頂でお弁当



6, 貴船山山頂で全員



7, 下山開始、滝谷峠に向かう



8, アップダウンを繰り返しながら進む



9, なお滝谷峠を目指す



10, 滝谷峠からの下り開始



11, 倒木多し



12, U字谷がV字谷に変わってゆく



13, V字谷の難所を通過



14, 滑落注意



15, 更にヤバくなる、このあと一人滑落する非常事態。



16, 滑落し顔が血だらけになるも、骨折もせず自力歩行可能



17, もう少しで足場の良い所に出られる



18, 芹生からの車道に合流、この後は奥宮、貴船の料亭を通り抜け、シャトルバス停に向かう